SANGETSU

サンウィンク Sanwinc

タテ型ブラインド

TV型メカ/TO型メカ

取扱説明書No.V－150004　　初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明･注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目　次

■ 安全上のご注意・・・

安全上のご注意（必ずお守りください）

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。
⚠ 注意	製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害･損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

⊘	製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。
❗	製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

⚠ 警告

- ⊘ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
- ⊘ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。

■使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

⚠ 警告

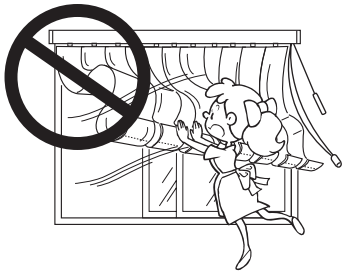
- ⊘ コードやチェーンが体に巻きついたり、引っ掛かるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- ❗ 操作しない時は、お子様の手が届かない位置でコードを束ねて、コードクリップで留めてください。

- ⊘ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

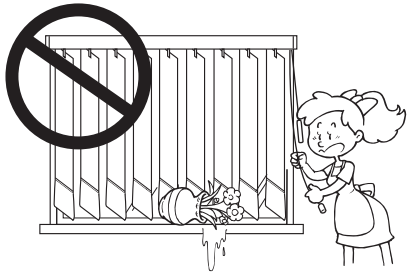
- ⊘ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

⚠ 注意

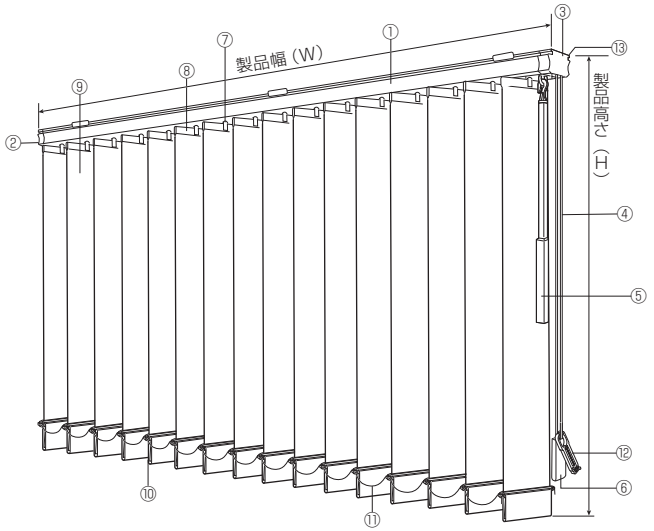
- ⊘ 強風の時は、必ず窓を閉めるかルーバーを全開の状態にしてください。



- ⊘ 必ずドライブコード、操作バトンを持って操作を行ってください。ルーバーを持って操作を行わないでください。
- ⊘ 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。
- ⊘ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ⊘ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。



製品全体図及び部品名称

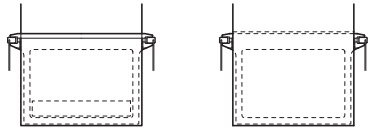


部品名

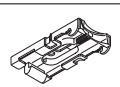
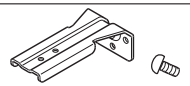
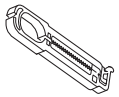
① ヘッドレール
② Uターン側サイドカバー
③ 操作側サイドカバー
④ ドライブコード（外側）
⑤ 操作バトン（内側）
⑥ テンションウエイト
⑦ ランナーフック
⑧ ハンガー
⑨ ルーバー
⑩ バランスウエイト
⑪ ボトムコード
⑫ コードクリップ
⑬ メンテナンスシール

※ 両側バトンタイプ（オプション仕様）の場合は、操作バトンが製品両側に1本ずつ付きます。
※ 操作タイプがバトン式の場合、④·⑥·⑫の部品はありません。
※ 製品高さは、天井付けブラケットが含まれた寸法となります。

※ ルーバー下部のバランスウエイト仕様は一部のスクリーンを除き、巻き込み式が標準となっています。



■ 付属部品

部品名 / 製品幅（mm）	ブラケット（※）		ブラケット用取付けネジ（※）	コードクリップ（※）	ボトムコード
	 天井付けブラケット	 正面付けL金具+付属ネジ	取付けネジ（φ3.5×20）		
300～1200	2 個		2（6）本	1 個	片開き：2 本 両開き：4 本
1210～2400	3 個		3（9）本		
2410～4000	4 個		4（12）本		
レールジョイント 2000～3000	4 個		4（12）本		
レールジョイント 3010～5000	6個		6（18）本		

※（ ）の本数は正面付けの際の入数になります。

※ ご指定いただいた製品仕様により、ブラケットの付属内容が異なります。天井付けの場合は天井付けブラケットが付属され、正面付けの場合は正面付けブラケットセット（天井付けブラケットと正面付けL金具+付属ネジ）が付属されます。取付け方法はP.6「ブラケットの取付け方法」を参照してください。

※ 操作タイプがバトン式の場合、コードクリップは付属されません。

■ 製品重量　3.9kg（幅2000mm×高さ2000mmの場合）

※ 製品重量は、ルーバー種類によって多少異なります。

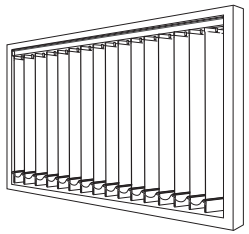
製品の取付け/取外し方法

⚠ 注意

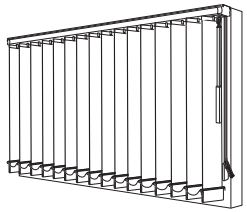
⃠ 付属部品の取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■ 取付けの種類

〈天井付けの場合〉



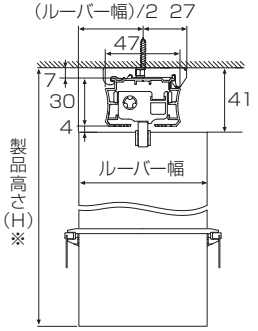
〈正面付けの場合〉



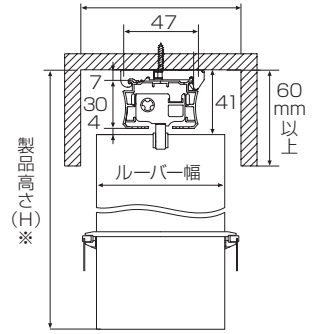
■ 取付け寸法図（単位：mm）

※ 製品高さ：天井付けブラケットを含むヘッドレール上部からルーバー下部までとなります。

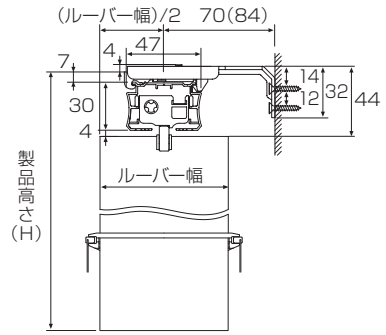
〈天井付け〉
（天井付けブラケット使用）

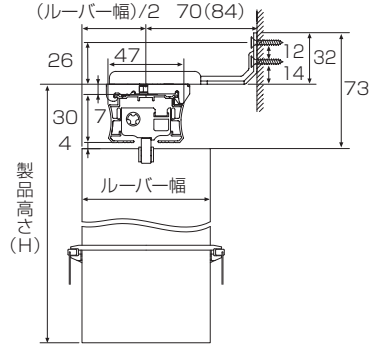


〈ボックス天井付け〉
ルーバー幅 80mmの場合　100mm以上
ルーバー幅 100mmの場合　120mm以上



〈正面付け〉
（正面付けブラケットセット使用）



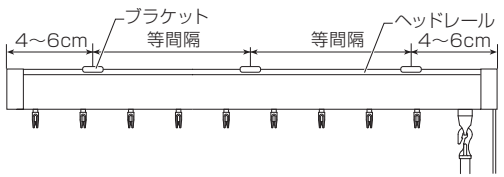


※（ ）寸法：出幅は2段階の調整ができます。

■ ブラケットの取付け位置

●ブラケットの取付け位置はヘッドレールの端部から4～6cm内側で、樹脂部品を避けて取付けてください。ブラケットを3個以上使用する場合は、等間隔になるように取付けてください。

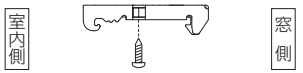
※ヘッドレールジョイント仕様の場合は、ジョイントをはさむようにブラケットを2個取付けてください。



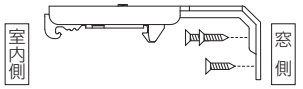
■ ブラケットの取付け方法

●P.5「取付け寸法図」の図を参考にして付属の取付けネジ（φ3.5×20）でブラケットを取付けてください。

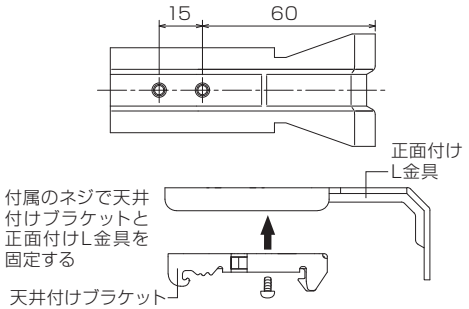
〈天井付けブラケット〉
（ブラケット1個に対して取付けネジ1本必要）



〈正面付けブラケットセット〉
（ブラケット１個に対して取付けネジ３本必要）



※正面付けの場合は、天井付けブラケットと正面付けL金具を組み合わせてご使用ください。天井付けブラケットを取り付ける穴は2つあり、使用する穴を変えることで施工時の出幅調整が可能です。

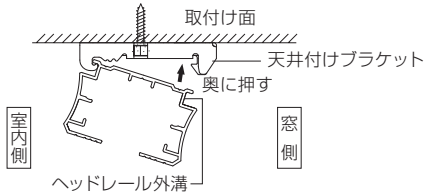


■ ヘッドレールの取付け方法

〈天井付けブラケットを使用する場合〉

❶ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。

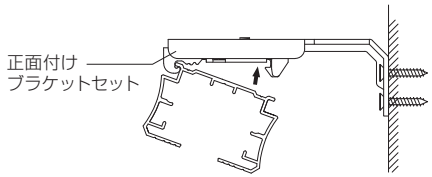
❷本体を奥に「カチッ」と押し込んでください。



〈正面付けブラケットセットを使用する場合〉

❶ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。

❷本体を奥に「カチッ」と押し込んでください。



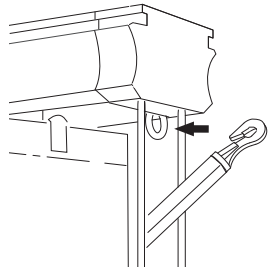
⚠ 注意

❗ ヘッドレール取付け後、確実にヘッドレールがブラケットに固定されていることをご確認ください。

■ 操作バトンの取付け方法

●ヘッドレール側のリング部に、操作バトンのフックを引っ掛けてください。

※取付け高さ4010mm以上では、操作バトンはジョイント仕様となります。グリップの付いていないバトンをヘッドレール側へ取付けた後、グリップの付いたバトンを引っ掛けてジョイントしてください。

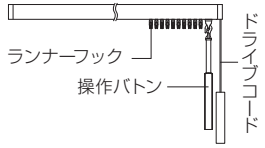


■ ルーバーの取付け方法

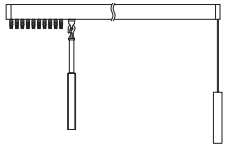
❶ドライブコードを下へ引き、ランナーフックを片側に寄せてください。両開き仕様の場合は両側に寄せてください。

※左操作の場合は反対の関係になり、イラストの向きは逆になります。
※製品取付け高さが3010mm以上の場合、操作バトンの位置は操作側に固定となります。

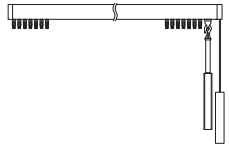
〈例：右操作右寄せ〉



〈例：右操作左寄せ〉

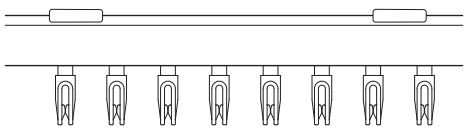


〈例：両開き右操作〉



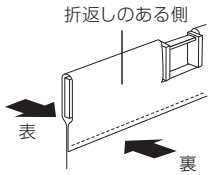
❷操作バトンを回してランナーフックをヘッドレールと直角の状態にしてください。

※ランナーフックが直角の状態でルーバーの取付けを行わないとルーバーが正常に回転しない場合があります。

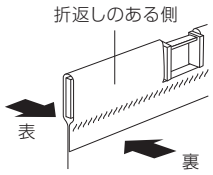


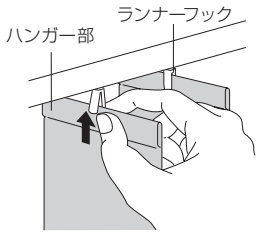
❸ルーバーの表裏を一定方向に揃え、ハンガー部をランナーフックに下から差し込んでください。

〈縫製仕様の場合〉



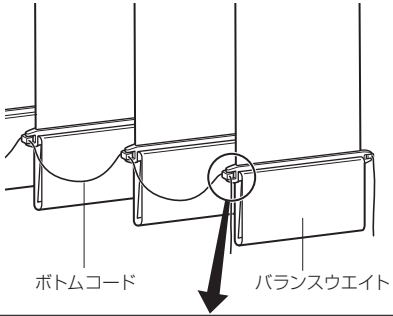
〈熱溶着仕様の場合〉





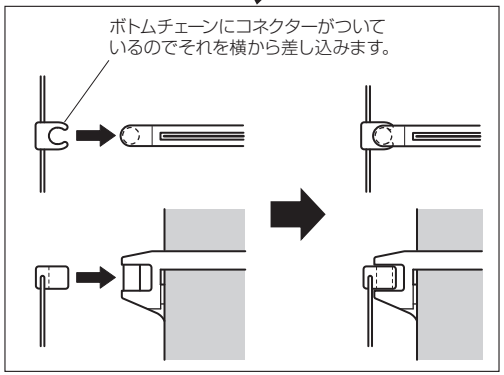
■ボトムコードの取付け方法

❶ 操作バトンを回転させ、ルーバーをヘッドレールに対し直角になるよう調整してください。各バランスウエイトの両側にある突起にボトムコードのコネクターを上から差し込んでください。

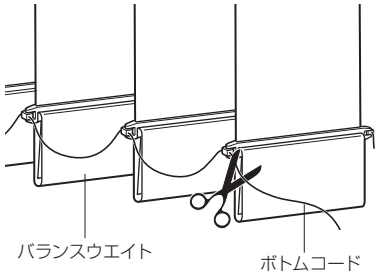


※ 取付けは必ず一番端のバランスウエイト及びボトムコードから始めてください。

※ ボトムコードがねじれないように注意してください。



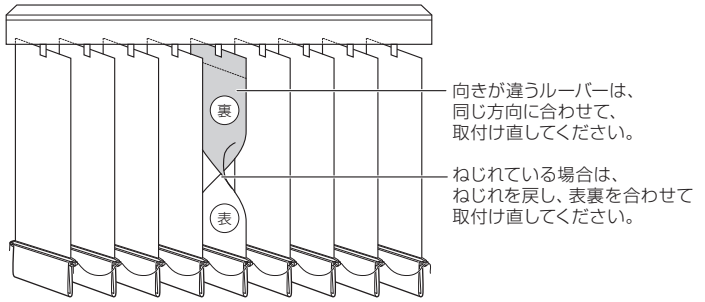
❷ 全てのバランスウエイトの両端にボトムコードを掛けましたら、両端の余ったコードを切ってください。



■ルーバー取付け後の確認

❶操作バトンを回して、ルーバーが正常に回転するか確認してください。

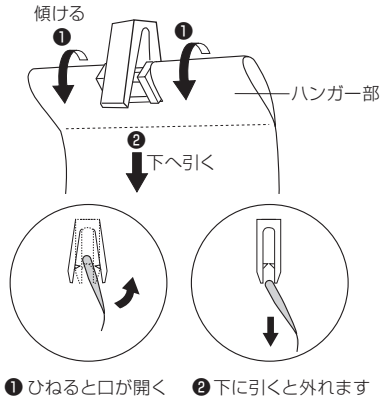
❷ルーバーが正常に回転しない場合、下図のような状態が考えられます。P.7「ルーバーの取付け方法」に従って、ルーバーを正しく取付け直してください。



■ルーバーの取外し方法

❶ハンガー部をやや傾けてください

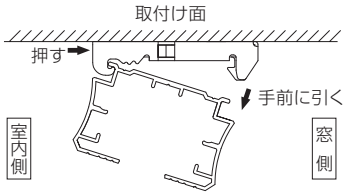
❷真下に引いてルーバーを取外してください。



■ ヘッドレールの取外し方法

〈天井付けブラケットの場合〉

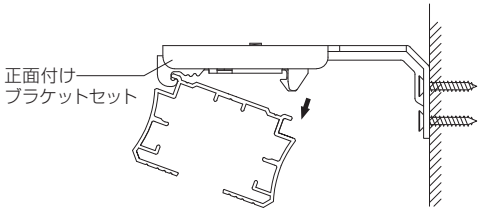
❶ブラケットの解除ボタンを押しながらヘッドレールを手前に引いてください。



❷本体を仮止めフックから外してください。

〈正面付けブラケットセットの場合〉

●上記❶❷に従ってヘッドレールを取外してください。



⚠ 注意

❗ ブラケットからヘッドレールを取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

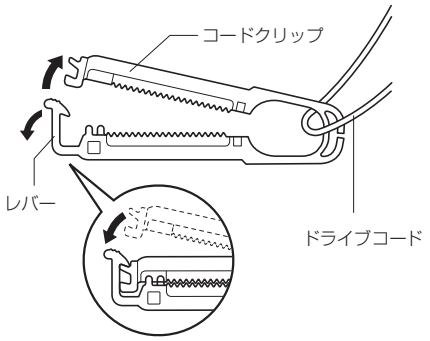
■ コードクリップの取付け/使用方法

⚠ 注意

⃠ お子様をドライブコードで遊ばせないでください。首や体に巻き付く等して思わぬ事故を招く恐れがあります。

●このコードクリップは、お子様がドライブコードを首や体に巻きつけて、思わぬ事故を招くことを防止するための部品です。

●コードクリップをドライブコードに取付け、お子様の手が届かない位置でドライブコードを束ねて、留めてください。



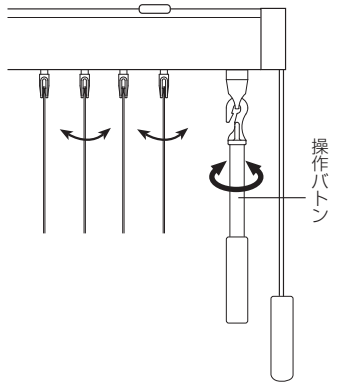
操作方法

■ ルーバーの角度調整（回転）

● 操作バトンを回転させて調整してください。

※ ルーバーが閉じると回転操作が重くなります。無理に回転させると故障の原因となりますのでおやめください。

※ ルーバーを回転させた際、角度の不揃いが出た場合は、逆方向に反転させてルーバーの向きを揃えてから、お好みの角度に調整してください。

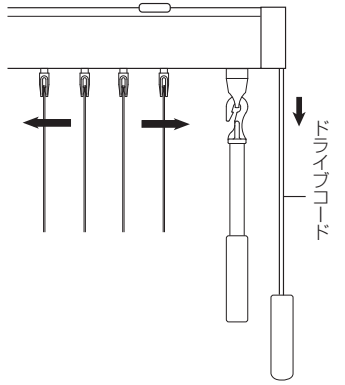


■ ルーバーの開閉（ドライブコード操作）

❶ 操作バトンを回転させ、ルーバーをヘッドレールに対し直角に調整してください。

❷ドライブコードを下方向へ引き、止めたい位置で手を離してください。

※ 操作タイプがバトン式の場合はドライブコードによる操作は行えません。

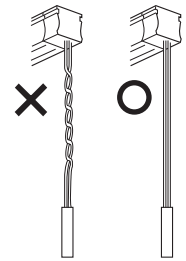


⚠ 注意

❗ 故障の原因になりますので、ルーバーの開閉操作は必ずルーバーがヘッドレールに対して直角の状態で行ってください。

❗ ドライブコードはゆっくりと引いてください。ドライブコードを強い力で引くと、ルーバーが勢いよく動くため、ルーバーにバラつきが生じ、キレイにたたみ込めなくなります。また、操作バトンがスライドする時には振れが発生し、窓ガラスや壁を傷つける場合がありますのでご注意ください。

❗ 寄せたルーバーを閉じる際は、ゆっくりとドライブコードを引いてください。勢いよく操作するとルーバーのゆれが大きくなり、閉じる方向と逆側の操作バトンが引っ張られ隙間が開く場合があります。開いた場合は、動いた操作バトンで隙間を閉じてください。



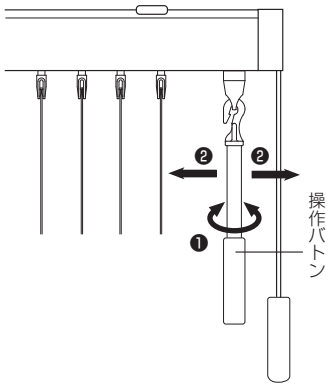
❗ ドライブコードがよじれた状態で操作をくり返し行うと故障の原因となります。ドライブコードのよじれをとった状態にして、操作を行ってください。

■ルーバーの開閉（バトン操作）

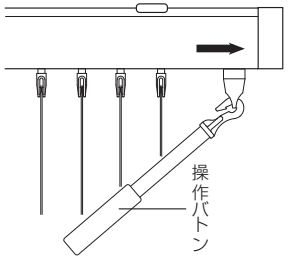
※製品取付け高さが3010mm以上の場合、操作バトンでのルーバーの開閉は行えません。

❶操作バトンを回転させ、ルーバーをヘッドレールに対し直角に調整してください。

❷操作バトンをスライドさせ、止めたい位置で手を離してください。



❸両端を閉めきるところでは、操作バトンが反らない状態で操作バトンの根元を端に押し込んでください。



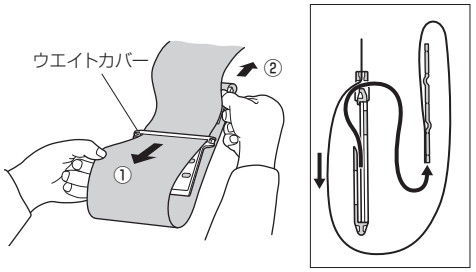
注意

- 故障の原因になりますので、ルーバーの開閉操作は必ずルーバーがヘッドレールに対して直角の状態で行ってください。
- 操作バトンはゆっくりとスライドさせてください。操作バトンを強い力でスライドすると、ルーバーが勢いよく動くため、ルーバーにバラつきが生じ、キレイにたたみ込めなくなります。
- 寄せたルーバーを閉じる際は、ゆっくりと操作バトンをスライドさせてください。勢いよくスライドするとルーバーのゆれが大きくなり、閉じる方向と逆側の操作バトンが引っ張られ隙間が開く場合があります。開いた場合は、動いた操作バトンで隙間を閉じてください。

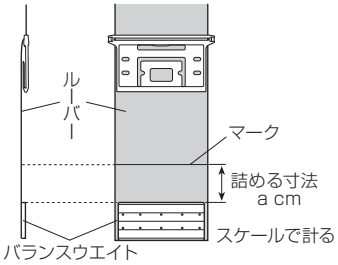
ルーバーの調整方法（巻き込み式の場合）

■ルーバーの丈詰め方法

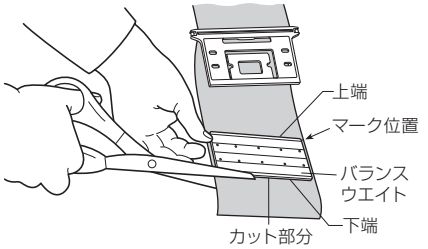
❶ウエイトカバーを持ちながら、ルーバーをたるませ（①）、ウエイトカバーからバランスウエイトを抜き取ってください（②）。



❷丈詰めする寸法（a cm）をバランスウエイトの上端からスケールで計り、マークを入れてください。

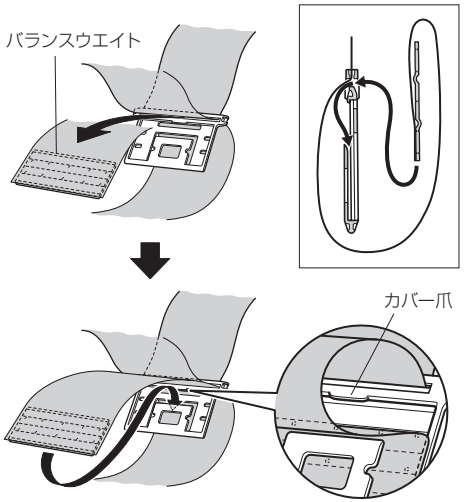


❸ルーバーからバランスウエイトをはがし、マークとバランスウエイトの上端が合うようにバランスウエイトを貼り直してください。バランスウエイトの下端に合わせてルーバーをカットしてください。



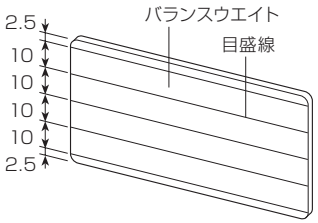
❹バランスウエイトをウエイトカバーに挿入して、最初の状態に戻してください。

※洗濯可能なルーバーの端部はホツレ止めの為、溶断を行っています。丈詰めを行うとルーバー端部のホツレ止め効果がなくなりホツレやすくなります。洗濯時には十分ご注意ください。



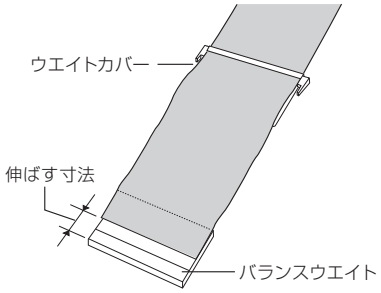
■ ルーバーの丈伸ばし方法

❶ P.13「ルーバーの丈詰め方法」❶ に従って、バランスウエイトを取出し、ルーバーからバランスウエイトをはがしてください。



❷ 伸ばしたい寸法を目盛線で確認し、両面テープで固定してください。

※最大約3cm、丈伸ばしできます。



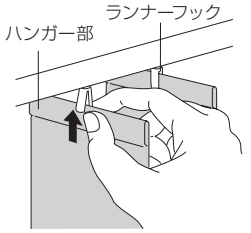
❸ P.13「ルーバーの丈詰め方法」❹ に従って、ウエイトカバーに挿入してください。

ルーバーの洗濯方法

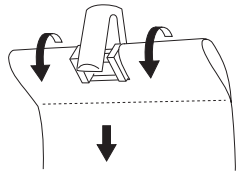
注意

- ウォッシャブル対応ルーバーには、ルーバー（1枚のみ）の上部に洗濯絵表示ラベルが貼付してあります。必ずこのラベルを確認した後に、洗濯を行ってください。
  ※ウォッシャブル対応ルーバー以外は洗濯できません。
- ルーバーの端部で手を切る場合があります。ルーバーの取扱いにはご注意ください。

❶ランナーフックから、ルーバーを抜き取ってください。



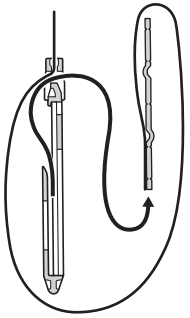
①ハンガー部を指でつまんでください。



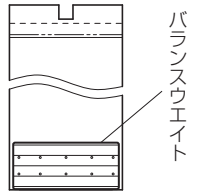
②ハンガー部をやや傾け、真下に引いてください。

❷ルーバーのバランスウエイトを抜き取ってください。

〈巻き込み式の場合〉



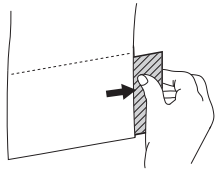
①カバー裏面スリットから、ルーバー端部を引っ張り出してください。



②ルーバー裏面の下端中央のバランスウエイトを外してください。

③カバー上面スリットからルーバーを抜き出してください。

〈袋縫い式の場合〉



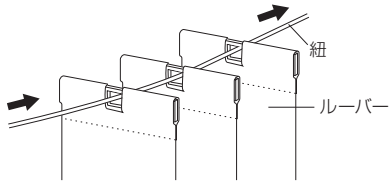
※バランスウエイトの上下を軽く押し込みながら横にすべらせると抜き取りやすいです。

●ルーバーから抜き取ってください。

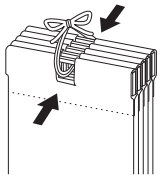
❸ルーバー上部のハンガーに、水洗い洗濯をしても大丈夫な、太さ２ミリ以内程度の紐を通して（①）、ループ状に結んでください（②）。

⚠ 注意

❗ 一度に紐を通すルーバーの枚数は10枚程度を目安としてください。ルーバーが多すぎる場合には洗濯した後に、ルーバーへシワが残る場合があります。

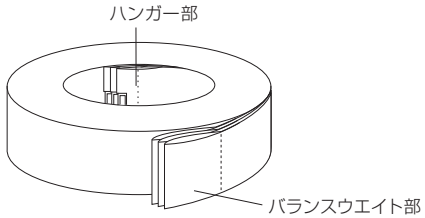


① 紐を通してください。

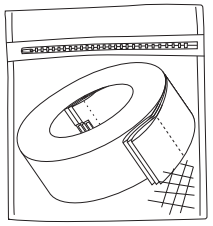


② ルーバーを束ねて、紐で結んでください。

❹束ねたルーバーを軽く巻き（①）、洗濯ネットに入れてください（②）。



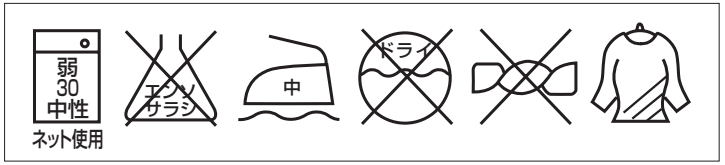
① 軽く巻いてください。



② 洗濯ネットに入れてください。

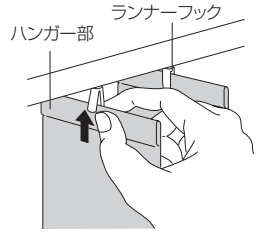
❺洗濯絵表示に従って水洗い洗濯をしてください。

洗濯絵表示ラベル



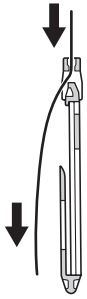
- 洗濯ネットを使用して単独で洗ってください。
- ルーバーの付属部品にはアイロン掛けはしないでください。
- 脱水は30秒程度にとどめてください。
- タンブラー乾燥はしないでください。
- しわが気になる部分にはアイロンを押さえるように掛けてください。

❻乾燥後、ルーバーをランナーフックに取付けてください。ハンガー部を指でつまみ、ランナーフックに下から差し込んでください。

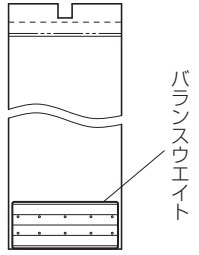


❼ルーバー下部にバランスウエイトを差し込んでください。

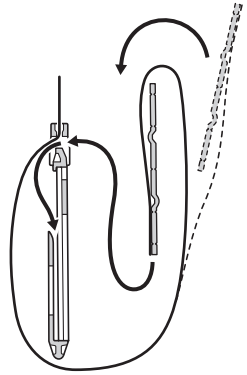
〈巻き込み式の場合〉



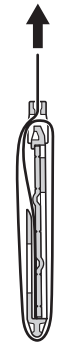
①ルーバー端部をカバー上面スリットへ差し込んでください。



②ルーバー裏面の下端中央に合わせ、バランスウエイトを貼り付けてください。

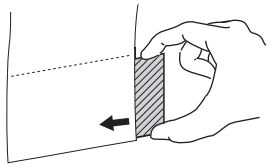


③ルーバー端部をUターンさせカバー裏面スリットから内側へ通し、カバーポケット部の底まで差し込んでください。



④ルーバーを引っ張りたるみを取り除いてください。

〈袋縫い式の場合〉

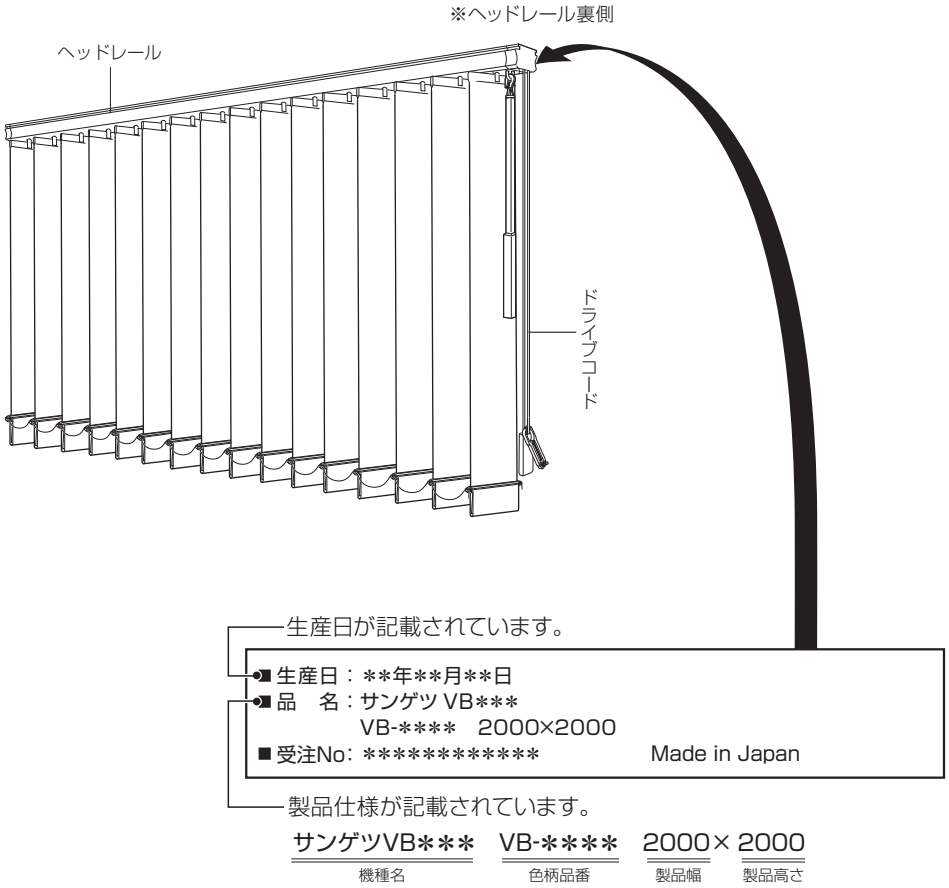


※バランスウエイトの上下を軽く押し込みながら横にすべらせると差し込みやすいです。

●ルーバーにバランスウエイトを差し込んでください。

メンテナンスシール

●お買い上げの製品にはドライブコード側のヘッドレール裏側に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



お手入れ方法

●日頃のお手入れは、ハタキやきれいなハンドモップ等でほこりを落としてください。

●ルーバーの汚れは、水を十分絞ったきれいな布で軽く拭きとってください。(水であっても、ルーバーは一度濡れると多少変色する場合がありますのでお取扱いには十分ご注意ください。)

梱包材の処理方法

●梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。

●各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。